

13. 東京都 (Tokyo)

作成者: 倉地 正¹⁾; 協力者: 久保田 繁男

作成日付: 2002年12月

| 今回 ランク | 判定 方法 | 前回 ランク | 種 名 | 現在も安定して発生している 産地 (市町村) | 現在減少傾向にある産地 (市町村) | 絶滅したと考えられる産地 (市町村) | 衰退の経過 | 減少要因 | 備考(対策・文献など) |
|-----------|----------|-----------|-------------|---------------------------|----------------------------|--|--|----------------------------|--------------------------|
| EX | ア | EX | ギフチョウ | - | - | 多摩丘陵(町田市, 八王子市), 高尾山(八王子市) | 継続的な記録は1971年まで. 1985年の高尾山の記録は放蝶の可能性あり | 宅地開発 | - |
| EX | ア | EN | ヒメシロチョウ | - | - | 奥多摩町, あきる野市, 日の出町, 八王子市, 瑞穂町, 世田谷区 | 奥多摩町では1989年以降記録なし. 発生地が限定されているため絶滅と判定した. それ以外は散発的な記録があるのみ | 発生地の草刈の強化 | - |
| EX | ア | EX | オオウラギンヒョウモン | - | - | 青梅市, 清瀬市, 武蔵野市, 三鷹市, 練馬区, 杉並区, 世田谷区, 中野区 | いずれも散発的で1960年代まで記録あり | シバ草原の減少 | - |
| EX | ア | V | アサマイチモンジ | - | - | 都内全域の29市区町村 | 大部分が1970年代に消滅. 檜原村, 八王子市, 日野市, 昭島市も1980年代までしか記録なし | 環境変化? | - |
| EX | ア | EN | クロシジミ | - | - | 都内全域の23の市区町 | 東大和市の1980年代の記録が最後. 都区部は1960年代, 多摩地区は1970年代まで | 棲息環境(疎林)の開発 | - |
| EX | ア | EX | シルビアシジミ | - | - | あきる野市, 八王子市, 立川市, 日野市, 三鷹市, 世田谷区, 江戸川区 | 世田谷区は1965年, 八王子市は1960年, 日野市の継続的な記録は1957年まで. その他は少数の散発的な記録があるのみ | 河川敷の開発 | - |
| EX | ア | EN | ヒメシジミ | - | - | 奥多摩町, 檜原村, 青梅市 | 檜原村の記録は1988年まで. 奥多摩町と青梅市の記録は1930年代に各1例の記録があるのみ | 生息地の植生遷移? | - |
| EX | ア | EX | ミヤマシジミ | - | - | 八王子市, 立川市, 日野市, 武蔵野市, 杉並区, 世田谷区, 文京区 | 継続的な記録は1950年代まで. 八王子市, 日野市, 立川市以外は散発的な記録があるのみ | 河川敷の開発 | - |
| EX | ア | EN | アサマシジミ | - | - | 奥多摩町, 檜原村, 八王子市陣馬山 | 八王子市の継続的な記録は1979年まで. 他は散発的な記録があるのみ | 植林 | - |
| EX | ア | EN | ホシチャバネセセリ | - | - | 檜原村, 奥多摩町 | いずれも散発的な記録が1960年代まであり | シバ草原の減少? | - |
| EN | オ | V | ツマグロキチョウ | - | 町田市, 東村山市, 葛飾区 | 都内全域約40の市区町村, 1~2例のみの場合も半数近く過産または調査不足の可能性も高い | 大部分の市区町村で1980年代で記録は途切れている. 1990年代に記録のある3市区の記録も散発的で危機的状況である | 環境変化? | - |
| EN | オ | - | オオミスジ | 奥多摩町 | 檜原村, あきる野市, 青梅市, 八王子市, 町田市 | 武蔵野市, 西東京市, 練馬区, 杉並区, 世田谷区, 中野区, 渋谷区 | 奥多摩町, 青梅市以外は1980年代までしか記録がなく, 都区部は1950年代までしか記録がない | 農家の減少, 農業の使用 | - |
| EN | オ | V | コムラサキ | 奥多摩町, 葛飾区 | 檜原村 | 多摩地区および都区部の27市区町 | 現存する3区町村以外は1980年代までしか記録がない | 河川管理, 宅地開発 | - |
| EN | ソ | EN | ムモンアカシジミ | - | 檜原村 | - | 2例しか記録がなく極めて稀 | - | - |
| EN | ク | V | ウスイロオナガシジミ | - | 八王子市 | 奥多摩町, 青梅市 | 奥多摩町, 青梅市は各1例しか記録がなく. 八王子市も1990年以降では2例のみ | カシワ林の伐採 | - |
| EN | ソ | EN | ウラミスジシジミ | - | 八王子市 | あきる野市 | 八王子市では細々と記録が出ている. あきる野市は1例記録があるのみ | - | - |
| EN | オ | R | ミドリシジミ | 青梅市, 町田市, 葛飾区 | 多摩西部 | 多摩東部および都区部 | 1950年代および1980年代に多くの産地が消滅した. 現在残っている所も開発圧力にさらされている所が多い | ハンノキ林の伐採 | 保存を目的とした, 管理された棲息環境の維持 |
| EN | ソ | R | エゾミドリシジミ | - | 檜原村 | 奥多摩町 | 奥多摩町の記録は1975年まで. 檜原村は記録が少なく調査が必要 | 植林? | - |
| EN | ク | EN | カラスシジミ | - | 八王子市 | 檜原村, 奥多摩町, 青梅市 | 檜原村, 奥多摩町の記録は散発的, 青梅市は1973年まで記録あり. 八王子市も一部の産地は宅地開発にあい消滅 | 植林, 宅地開発 | - |
| EN | ソ | V | オガサワラシジミ | - | 小笠原村 | - | 近年, 調査でも発見されず, 危機的状況である | 移入動物(アノ - ルトカゲ)原因説もあるが, 不明 | 久保田繁男:関東支部2001年秋の集い講演要旨集 |
| EN | オ | V | コキマダラセセリ | - | 檜原村 | 奥多摩町, 青梅市, 八王子市 | 奥多摩町, 八王子市は1980年代, 青梅市は1978年までしか記録がない | シバ草原の減少? | - |

13. 東京都 (Tokyo)

作成者: 倉地 正¹⁾; 協力者: 久保田 繁男

作成日付: 2002年12月

| 今回 ランク | 判定 方法 | 前回 ランク | 種 名 | 現在も安定して発生している 産地 (市町村) | 現在減少傾向にある産地 (市町村) | 絶滅したと考えられる産地 (市町村) | 衰退の経過 | 減少要因 | 備考(対策・文献など) |
|-----------|----------|-----------|-------------|---|---|---------------------------------|--|------------------|--------------------------|
| VU | ス | R | ツマジロウラジノメ | - | 奥多摩町 | 檜原村, 青梅市 | 奥多摩町は1990年代に記録減少, それ以外は散発的な記録しかなく, 1982年が最後 | 林道の崖の吹き付け工事 | - |
| VU | カ | R | オオムラサキ | 奥多摩町, あきる野市, 青梅市, 日の出町, 八王子市, 町田市, 武蔵村山市, 稲城市 | 檜原村, 瑞穂町, 東村山市 | 多摩東部および都区部 | 多摩東部および都区部の多数の区市町で段階的に記録が消えている | 里山の手入れ放棄, 雑木林の減少 | 保存を目的とした, 管理された里山の維持 |
| VU | オ | R | ウラナミアカシジミ | 青梅市, あきる野市, 日の出町, 八王子市, 町田市, 武蔵村山市, 東大和市, 稲城市 | 左記以外の大部分の多摩地区 | 多摩東部および都区部 | 1950年代および1980年代に多くの産地が消滅した。現在残っている所も開発圧力にさらされている所が多い | 里山の手入れ放棄, 雑木林の開発 | 保存を目的とした, 管理された里山の維持 |
| VU | ス | R | ハヤシミドリシジミ | - | 八王子市 | 清瀬市 | 清瀬市は1950年代に滅亡。八王子市も陣馬山周辺のみ減少 | カシワ林の伐採 | - |
| VU | タ | R | スジグロチャバネセセリ | - | 奥多摩町, 檜原村, 青梅市 | - | いずれも記録は多くないが, 調査不足の可能性もある | 山地草原の減少 | - |
| VU | タ | R | ヘリグロチャバネセセリ | - | 奥多摩町 | 檜原村, 青梅市, 八王子市 | 奥多摩町以外は1980年代までの散発的な記録しかなく, 飛来個体が偶産の可能性大 | 山地草原の減少 | - |
| NT | チ | R | ヤマキチョウ | 奥多摩町 | あきる野市 | 檜原村, 青梅市, 八王子市, 小金井市, 世田谷区, 豊島区 | 奥多摩町, 青梅市, 八王子市以外の記録はそれぞれ1~2例しかなく過産の可能性大 | - | - |
| NT | チ | R | スジボソヤマキチョウ | 奥多摩町 | 檜原村, 青梅市, 日の出町, 八王子市 | あきる野市, 町田市, 日野市, 東村山市, 練馬区, 杉並区 | 八王子市は1970年代から減少。奥多摩町, 八王子市以外の記録は夫-1~4例しかなく過産の可能性大 | - | - |
| NT | チ | R | ギンボシヒョウモン | - | 奥多摩町 | 檜原村, 青梅市 | 奥多摩町以外は散発的な記録しかなく, 飛来個体が偶産の可能性大 | 山地草原の減少 | - |
| NT | チ | R | ウラゴマダラシジミ | 青梅市, 八王子市, 町田市, 瑞穂町, 武蔵村山市 | 奥多摩町, あきる野市, 日の出町, 東大和市, 東村山市, 稲城市, 清瀬市 | 多摩東部および都区部の20市区 | 1990年代の記録がないところを絶滅としたが, 散発的な記録しかないところは調査不足の可能性もある | 林縁環境の破壊, 開発 | 保存を目的とした, 管理された里山・河川敷の維持 |
| NT | チ | R | ウラキンシジミ | 八王子市, 檜原村 | 奥多摩町, 青梅市 | - | 奥多摩町では1990年代以降の記録が減少, 青梅市は3例しか記録がない | - | - |
| NT | チ | R | アカシジミ | 青梅市, あきる野市, 八王子市, 町田市, 武蔵村山市, 東大和市 | 多摩東部, 世田谷区, 文京区 | 多摩東部の一部および都区部の大部分 | 多摩西部の里山が残存しているところ以外は, 数の減少が顕著 | 里山の手入れ放棄, 雑木林の開発 | 保存を目的とした, 管理された里山の維持 |
| NT | チ | R | オナガシジミ | 奥多摩町 | 檜原村, 八王子市 | - | 檜原村は記録が少なく, 八王子市は1例しか記録がない | - | - |
| NT | チ | R | ミズイロオナガシジミ | 青梅市, 八王子市, あきる野市, 町田市, 武蔵村山市, 東大和市, 稲城市, 港区 | 多摩地区および都区部の雑木林に残存 | 多摩東部 | 絶滅産地は1980年代以前しか記録がないが, 調査不足の可能性もある | 里山の手入れ放棄, 雑木林の減少 | 保存を目的とした, 管理された里山の維持 |
| NT | チ | R | ウラクロシジミ | 奥多摩町, 檜原村, 八王子市 | 青梅市, あきる野市, 日の出町 | - | 青梅市では90年代以降の記録がなく, あきる野市, 日の出町はわずかな記録しかない | - | - |
| NT | チ | R | アイノミドリシジミ | 檜原村 | 奥多摩町 | 青梅市, 八王子市 | 奥多摩町では90年代以降記録減少。青梅市, 八王子市は夫-1~2例しかなく過産の可能性大 | - | - |
| NT | チ | R | オオミドリシジミ | あきる野市, 青梅市, 八王子市, 町田市, 東大和市 | 多摩地区および世田谷区の雑木林に残存 | 多摩東部および都区部 | 絶滅産地は1980年代以前しか記録がないが, 調査不足の可能性もある | 里山の手入れ放棄, 雑木林の減少 | 保存を目的とした, 管理された里山の維持 |
| NT | チ | R | フジミドリシジミ | 奥多摩町, 檜原村, 八王子市 | 青梅市 | - | 青梅市は散発的な記録しかない | 植林 | - |
| NT | チ | R | オガサワラセセリ | - | 小笠原村 | - | 1990年代に入り目撃記録年数が減り気味。調査不足なのか実際に減少しているのか不明 | - | 一定期間毎の学術調査が望まれる |
| DD | ネ | EN | ジョウザンミドリシジミ | - | - | 檜原村, 八王子市 | 1949年と1972年に各1例の記録があるのみ | - | - |
| DD | ネ | EN | キバネセセリ | - | 奥多摩町 | - | 散発的な記録が3例あるのみ | - | - |
| DD | ネ | EN | アカセセリ | - | - | 奥多摩町 | 1963年に1例記録があるのみ | - | - |

1) 〒205-0023東京都羽村市神明台1-12-16